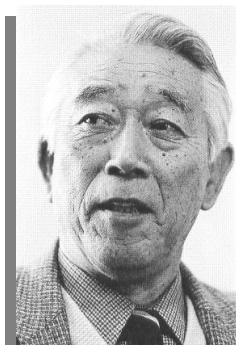


Management Club Report

Jul. 2007/Vol.55

Monthly Opinion 《輝け！独創的マネジメント》

去る5月11日同志社大学名誉教授の岡仁詩先生が亡くなりました。長年に亘り同志社大学ラグビー部を指導すると共に、日本代表チームの監督を何度も務めるなどラグビー界でその名を知らない者はいないほどの存在でした。またラグビー界の“頭脳”と言われたほどのアイデアマンでもあり、誰もが驚くような創造力に富んだ戦法を編み出しては多くのラグビーファンを楽しませてくれました。



神奈川の県立高校でラグビーをしていた私は、正月になると秩父宮へよく足を運んだものですが、毎年東上してくる同志社大学のエキサイティングなラグビーを観ることが楽しみでした。当時2強といわれた早稲田大学や法政大学にあと一歩及ばず敗れ去りはするものの、独創的で勇気に溢れたプレーの連続は関東のラグビーファンに鮮烈で爽やかな印象を残してくれました。

岡先生は体育会系の無骨な臭いを凡そ感じさせない温厚なジェントルマンでした。その指導方針も類型的な戦法を頭ごなしに押し付けるものではなく、選手個々の自主性を重んじるリベラルな思想に基づくもので、「自立と自律」を柱としていたそうです。日本のラグビー界というよりも、教育界にとって実に大きな損失と言えるでしょう。心からご冥福をお祈り致します。

今月は、岡仁詩先生を偲ぶなかで、岡イズムといわれた自主自立の独創精神をマネジメントの世界に当てはめて、歯科医院経営の発展にひとつのヒントを得たいと思います。独創性を持ったマネジメントを確立することの重要性を前段で、フェアな利益追求姿勢が道を大きく開くというテーマを後段でお伝えして行きたいと思います。

1

独創性の高いマネジメントスタイルを構築する

「ラグビー・ロマン」

岡先生が亡くなる半年前に、「ラグビー・ロマン —— 岡仁詩とリベラル水脈」という本が岩波書店から新書版として出されました。京都大学農学部出身のノンフィクション作家、後藤正治氏がまとめた「岡仁詩評伝」で、もちろん半年